

テーマは「わたしの思い出」

第34回弥生の里児童画大賞展授賞式

令和7年12月6日、ふれあい文化センターで同授賞式を開催し、入賞者47人を表彰しました。緊張した様子の児童たちも、登壇すると堂々とした姿で賞状を受け取り、会場からは温かな拍手が送られました。

上位作品と本人のコメントは、市ウェブサイト（ID1016719）で見ることができます。



上位入賞者（敬称略）

- ▷ 弥生の里大賞 長崎心遥（古賀市立花鶴小学校5年）
- ▷ 市長賞 酒井 晃（春日野小学校6年）
- ▷ 教育長賞 有岡陽依（春日野小学校6年）
- ▷ 特別賞 吉村郁夫賞 西村悠隆（筑紫野市立原田小学校3年）
- ▷ 青少年育成市民会議賞 衣非俊介（北九州市立足原小学校4年）

市民図書館開館30周年を祝う

かすがLIBFES

令和7年12月6日、7日、市民図書館でかすがLIBFESを開催しました。このイベントは、普段と違う図書館を楽しんでもらう冬の恒例行事。以前は「夜の図書館」として開催していましたが、令和6年から名称を変更し、イベントをさらに充実させています。

平成7年の開館から30周年の節目を迎えた市民図書館。「図書館de音楽会」では、春日交響楽団の皆さんのが、図書館開館30周年のアニバーサリーをテーマに全9曲を熱演。弦楽合奏の美しい音色が会場に響き渡り、来館者は、足を止めて聞き入っていました。

また、大道芸パフォーマンスでは、次から次に繰り出される技に会場は大盛り上がり。笑い声と拍手でいっぱいの時間となりました。

その他、落語や夜のおはなし会、ボードゲームなど、ワクワクするイベントが盛りだくさん。親子連れなど多く訪れ、来館者は、普段とは雰囲気の違うにぎやかな図書館を存分に楽しんでいました。

▷ ケーブルステーション福岡賞 迎 裕貴（宗像市立河東小学校3年）

▷ 市民図書館長賞 菊池将護（春日原小学校4年）

▷ ふれあい文化センター館長賞 原 陽菜乃（春日北小学校1年）

▷ 審査委員長賞 光行洋子賞 小野稜真（春日原小学校2年）

▷ 審査委員賞 中原成子賞 高木陽仁（日の出小学校5年）

▷ 審査委員賞 北村直登賞 粟井将貴（春日西小学校1年）



▲授賞者の皆さん



▲美しい音色で来館者を魅了



▲大学生による落語で大盛り上がり

教育文化の振興に大きく寄与 県教育文化表彰を受賞



▲表彰の喜びを市長に報告

令和7年12月8日、学びすと春日の役員4人が井上市長を訪問し、11月8日に同表彰を受けたことを報告しました。32年にわたる幅広い分野の教室の自主運営や、地域の社会教育振興の取り組みが評価されたものです。

会長の久原一也さんは「共に学ぶ仲間を増やし、学びを継続して、成果を地域に還元していきたい」と今後の抱負を述べました。

自治体への寄付は全国2例目、九州初 防災用非常食「天使のお結び」を受領



▲山崎さん(左)と市長

令和7年12月16日、国連NGO JACE東京第2支部から市へ、防災用非常食「天使のお結び」500個が寄付されました。常温で5年保存することができ、水や調理も不要で開封後すぐに食べられます。同支部の山崎滋雄上席研究員は「春日市の防災対策に役立ててほしい」と述べ、井上市長は「支援に感謝します。備蓄や防災訓練などにおいて大切に活用します」とお礼を述べました。

地域のみんなで楽しむ 市内各地区で餅つき大会を開催



▲熱々の餅、優しく丸めてね

令和7年11月末から12月にかけて、市内の多くの地区で餅つきが行われました。子どもから高齢者まで、みんなで協力し合う恒例行事です。

千歳町地区では、大人や中学生ボランティアが杵で力強く餅をつき、待ち構えた子どもたちがうれしそうに餅を丸めていました。あんこ、きな粉、大根おろしなどのトッピングも準備され、参加者はつきあての餅をおいしそうに頬張っていました。

地域社会の発展を願って (公社)筑紫法人会が中学校へ図書を寄贈



▲目録を受領した生徒たちと関係者の皆さん

令和7年12月9日、江上嘉実同会会长から、地域社会貢献活動の一環として、市内6中学校に図書82冊が寄贈されました。また、チャリティ益金により、高齢者支援に取り組むNPO法人小さな家ぐるみにパソコンが寄贈されました。同会の川村博富副会長は、「小さな活動かもしれないが、少しでも役に立てればうれしい」と述べ、寄贈を受けた生徒たちは、学校図書の充実に対し、感謝の気持ちを述べました。



市民投票で受賞者を決定

緑のカーテンコンテスト、かすがエコ川柳コンクール

令和7年12月16日、市役所で「緑のカーテンコンテスト」と「かすがエコ川柳コンクール」の表彰式を行いました。いずれも、環境問題に関する啓発事業として実施。11月16日に開催した春日市環境フェアにおいて来場者による投票を実施し、それぞれ受賞者を決定しました。

○緑のカーテンコンテスト

地球温暖化対策と緑化推進の取り組みを広げる目的で、今回初めて開催。個人宅や団体など8件の応募の中から、最優秀賞1点と優秀賞2点が選ばれました。最優秀賞を受賞した小貫伊勢子さんの作品は「ころたん」という品種のメロンによるもの。日頃からベランダ菜園を楽しんでいることが受賞につながりました。

受賞作品の育成の工夫など、詳しくは市ウェブサイト([ID1001211](#))で見ることができます。



▲最優秀賞の緑のカーテン



▲重さ1キログラムを超えるメロンを収穫

○かすがエコ川柳コンクール

今回で12回目の開催となった同コンクール。応募者90人から117作品の応募があり、最優秀作品1点と優秀作品4点が選ばれました。最優秀作品に選ばれた川柳は、令和9年度に製造する市指定ごみ袋に掲載する予定です。

受賞作品・表彰者(敬称略)

▷最優秀作品

ポイ捨ては 青い地球の 色変える
たかきあつると
高木陽仁(日の出小学校5年)

▷優秀作品

▶いりません そのひとことが だいじだよ
あかぎみさき(日の出小学校4年)

▶食べのこし もったいないよ フードロス
ひらたけりの
平田結梨乃(日の出小学校4年)

▶ごみ削減 次の世代へ バトンパス
のうみ あきら
能美 朗

▶買う前に 冷蔵庫の中 思い出す
のうみ あきら
能美 朗



▲左から高木さん、市長、小貫さん

食を通じて環境を考える

うちエコ講座「親子みそづくり」

令和7年12月20日、同講座を開催し、10組24人の親子が参加しました。塩と麹、大豆とその煮汁を混ぜ合わせて作業を進め、参加者は大豆の匂いや感触を確かめながら楽しそうに取り組んでいました。また、旬の食材を使ってみそ汁を作り、試食を実施。その他、環境クイズや絵本の読み聞かせを通じて、本当のごちそうとは何かを考え、自然環境と食とのつながりについて学びました。



▲みんなで協力してみそづくり